

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
人間の尊厳と自立 Human Dignity and Independence		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護福祉士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
大塚登	本館2階	火・水・木・金曜日の9～17時		授業中に指示します
授業の概要				
「人間」の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応するための基礎となる能力を養う。				
授業の目標				
①人間を多面的に見る目を養い、人間の理解を深め、人間の尊厳と自立の重要性を説明できるようにする。 ②人間の自立の概念と構造を具体的に説明できるようにする。 ③介護を必要とする人に対する尊厳の保持と自立支援の必要性を説明できるようにする。 ④介護場面における倫理的課題に対応できる基礎知識を説明できるようにする。				
授業の方法				
授業前半は個人の尊厳・権利侵害・社会的排除等のケース研究ならびに支援者の思い込みに対する自己省察・ディスカッションを行い、後半は教科書中心に進め、利用者の権利擁護・利用者本位の支援の重要性を理解する。				
学習の成果（学習成果）				
①福祉サービス利用者の個人の尊厳と人権擁護の重要性を説明することができる。 ②利用者本位の支援のあり方、権利擁護のあり方について説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の進め方、留意事項、成績評価について） 尊厳と命① 障害と命について（相模原事件から）			
第2回目	尊厳と命② 基本的人権の尊重と福祉Ⅰ（神聖な義務）			
第3回目	尊厳と命③ 基本的人権の尊重と社会的排除（出生前診断）			
第4回目	尊厳と命④ 基本的人権の尊重と福祉Ⅱ（裁判と障害） （4）保育計画・指導計画を理解する。			
第5回目	尊厳と自己表現① 社会の障害者観と自己表現（障害者と笑いをとるプロレス）			
第6回目	尊厳と自己表現② 社会の障害者観と自己表現（障害者と必ずしも笑いを取らないプロレス）			

第7回目	尊厳と自己表現② 社会の障害者観と自己表現（障害者とお笑い）	
第8回目	尊厳と命・尊厳と自己表現を振り返り自分の考えをまとめる 課題作文：「社会福祉従事者としての人間観」	
第9回目	尊厳と自立の意義・しくみ・歴史 小テスト	
第10回目	人間の尊厳・自立と生活 小テスト	
第11回目	介護における尊厳保持と自立支援の理論 小テスト	
第12回目	介護における尊厳保持と自立支援の実践 小テスト	
第13回目	施設における人権尊重と権利擁護の工夫 小テスト	
第14回目	福祉従事者としての職業倫理 小テスト	
第15回目	1～14回目までの授業を振り返り、「人間の尊厳と自立」について学んだことを踏まえ将来社会福祉施設で働くための希望を語る。	
事前・事後学習	の授業の動画はほとんどインターネットで閲覧できるので、授業後再度閲覧し、自分の考えは変わったか、或いは深まったかを省察してほしい。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	10%	8回目の授業終了時に「社会福祉従事者としての人間観」について800字以上で授業内容を踏まえて（5%）、自分の考え（主に自己省察）を述べてください（5%）。
調査報告書		
小テスト	24%	小テストでは知識の定着を図る穴埋め問題（10問）と自分の言葉でまとめる論述課題（1題）を出します。4%×6回=24%（毎回、穴埋め問題3%、論述課題1%）です。
試験	26%	1～14回目までの内容を穴埋め問題として出題します。
発表内容（態度含む）	35%	1～7回目の授業では毎時間自分の考えを発表します。他者の意見も参考に、自分の考えを深めてください。5%×7回=35%
その他	5%	15回目授業では「人間の尊厳と自立」について学んだことを踏まえて、将来の社会福祉・介護福祉施設従事者としての希望を述べる（口頭発表）。
教科書と参考図書		
人間の理解（中央法規）		
履修上の留意点・ルール		
ほぼ毎回全員の発表を求めるので、「自分は・・・」と考えながら授業に参加してください。		